

令和 3 年度業務実績に関する項目別評価（案）

令和 4 年 10 月 4 日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会

第1項 評価結果一覧

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分 % (c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1 公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	(1) 救急医療への対応	4	4	5	20	20
		(2) 災害時における機能の強化	4	4	5	20	20
		(3) 感染症対策の強化	5	5	5	25	25
		(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮	4	4	5	20	20
					20	85 (4.25)	85 (4.25)
	2 高度・専門医療の提供	(1) がん医療の充実	4	4	5	20	20
		(2) 循環器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		(3) 消化器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		(4) 周産期医療の充実	5	5	5	25	25
		(5) 小児医療の充実	4	5	5	20	25
		(6) センター診療機能の更なる充実	3	3	5	15	15
		(7) 総合診療体制とチーム医療の充実	4	4	5	20	20
		(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	4	4	5	20	20
					40	160 (4.00)	165 (4.12)
	3 安全で信頼される医療の提供	(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底	4	4	5	20	20
		(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目1の合計（14項目）				70	285 (4.07) A	290 (4.14) A

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分 % (c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	(1) 効率的・効果的な組織運営	3	3	4	12	12
		(2) コンプライアンスの徹底	3	3	4	12	12
					8	24 (3.00)	24 (3.00)
	2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実 (1)	4	4	5	20	20
		(2) 働き方改革の推進	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目 2 の合計（4 項目）				18	64 (3.55) A	64 (3.55) A
3 財務内容の改善に関する事項	1 経営基盤の強化		5	5	5	25	25
	2 収入の確保及び費用の最適化		4	4	5	20	20
	大項目 3 の合計（2 項目）				10	45 (4.50) S	45 (4.50) S
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	(1) 地域社会との協働の推進	3	3	2	6	6
					2	6 (3.00)	6 (3.00)
	大項目 4 の合計（1 項目）				2	6 (3.00) B	6 (3.00) B

〈加点点項目〉

中期計画・年度計画に定める項目			評価		加 点 比 率 % (c)	加 点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	(2) 市施策への協力	4	4	3	12	12

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価結果一覧

大項目1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
290 点	70	4.14 点	S	A	B	C	D

大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
64 点	18	3.55 点	S	A	B	C	D

大項目3 財務内容の改善に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
45 点	10	4.50 点	S	A	B	C	D

大項目4 その他業務運営に関する重要事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
6 点	2	3.00 点	S	A	B	C	D

大項目4 その他業務運営に関する重要事項（加点項目）

小項目評価点	加点比率	加点
4 点	3	12 点

【地方独立行政法人加古川市民病院機構 年度評価実施要領（抜粋）】

別表4 大項目評価における評価の基準

評価 (評点)	コメント	評価の基準
S	中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。	$4.5 \leq X$
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。	$3.5 \leq X < 4.5$
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる。	$2.5 \leq X < 3.5$
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。	$1.5 \leq X < 2.5$
D	中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている、または重大な改善すべき事項がある。	$X < 1.5$

備考

- 1 Xは、当該大項目内の各小項目評価の評点に別表2の配分比率を加味して導いた評価点。
- 2 評価に当たっては、当該大項目内の各小項目評価の評点から大項目全体を機械的に判断するだけでなく、必要に応じ、重要な意義を有する事項や優れた取組がなされている事項その他法人を取り巻く諸事情も考慮して行う。

(2) 大項目別評価

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

◎評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んで いる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れて いる
----------------------	-------------------	---------------------	--------------	-------------------

14 項目のうち、「救急医療への対応」をはじめ 13 項目で年度計画を達成しており、残りの 1 項目についても、年度計画を概ね達成している。

年度評価実施要領に基づき、小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「4. 14」であり、3. 5 以上 4. 5 未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	(1) 救急医療への対応	5	4	4	20
	(2) 災害時における機能の強化	5	4	4	20
	(3) 感染症対策の強化	5	5	5	25
	(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	4	4	20
	中項目 計	20	—	—	85 (4. 25)
2 高度・専門医療の提供	(1) がん医療の充実	5	4	4	20
	(2) 循環器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	(3) 消化器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	(4) 周産期医療の充実	5	5	5	25
	(5) 小児医療の充実	5	4	5	25
	(6) センター診療機能の更なる充実	5	3	3	15
	(7) 総合診療体制とチーム医療の充実	5	4	4	20
	(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	4	4	20

	中項目 計	40	-	-	165 (4.12)
3 安全で信頼される医療の提供	(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底	5	4	4	20
	(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	5	4	4	20
	中項目 計	10	-	-	40 (4.00)
合 計		70	-	-	290 (4.14)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

[小項目評価(c) × 配分(a)] の合計 ÷ 配分(a) の合計

= 290 ÷ 70

≒ 4.14

◎特筆すべき小項目評価

1-(1) 救急医療への対応

【評価：4】

- ・新型コロナ感染症患者及び新型コロナ感染症が疑われる患者の対応や、周産期医療において積極的に地域の基幹病院として救急医療に貢献したことを高く評価する。
- ・受入件数が前年比 116%増で目標達成率も 108.2%となっており評価。他方、受入件数の増加によりやむを得ないものの不応率目標は未達で、外傷・脳神経領域の受入体制は拡充の余地がある。
- ・救急不応率はコロナ禍で医療ひっ迫があり目標を達成できなかったが、受入件数は目標を大きく超えて達成し、兵庫県から救急医療・救急業務功労者と功績が評価された。

1-(2) 災害時における機能の強化

【評価：4】

- ・災害時を想定した訓練活動とともに医療資材の確保、備蓄、診療体制の整備と有事への備えが整備されている。
- ・災害訓練実施回数や災害医療研修の受講率増など実績が評価できる。他方中期計画・年度計画との関係で、加古川市の防災計画を踏まえた定期的な情報共有に関する実績が確認できない。
- ・年度計画をすべての項目において達成できており、様々な取り組みによりコロナ禍の困難を臨機応変に克服して、地域だけでなく沖縄県の医療にも貢献した。

1-(3) 感染症対策の強化

【評価：5】

- ・新型コロナ感染症患者受入病床を確保し、他の医療機関で対応が困難な患者の受入を行ったことを評価する。
- ・他の医療機関で受入困難な患者の受入も含めて、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての役割を十二分に発揮している。引き続き、状況を踏まえて対策強化に臨んでいただきたい。
- ・年度計画をすべての項目において達成できており、小児や妊婦、透析患者など他の医療機関で受入困難な患者を受け入れ、公立病院としての役割を大いに果たせた。

1－(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮

【評価：4】

- ・地域の医療・介護従事者に向けた研修会を実施したことや、各専門チームが地域の医療機関と連携を密にしてスムーズな移行を実現していることを評価する。
- ・在宅療養や退院後の療養生活への円滑な移行を実現し、中核医療機関としての役割を十分に発揮した。他方、コロナの影響もあるが、紹介率の改善と地域医療機関との交流拡充の余地がある。
- ・コロナ禍の状況のため紹介率が目標に届かなかったが、e-learning 形式により地域医療従事者向けの研修を大きく増加させるなど地域の中核医療機関としての役割を発揮している。

2－(1) がん医療の充実

【評価：4】

- ・がん通院患者数、地域連携パス件数、看護外来数ともに増加している。地域がん診療連携拠点病院として充実に向けた取組を評価する。
- ・高度かつ低侵襲な手術療法等を推進するなどして、地域がん診療連携拠点病院の認定を受けるなど、評価できる。他方、婦人科領域の医師の確保やゲノム医療への対応拡充等の課題もある。
- ・新たに「地域がん診療拠点病院（高度型）」の認定や「認定がん相談センター」の指定、放射線治療医の増員・通院治療室の治療用チェアの増設など地域のがん医療ニーズに応えている。

2－(2) 循環器疾患にかかる医療の充実

【評価：4】

- ・24 時間 365 日体制で急性期循環器、脳血管症例を受け入れ、開心術、PCI 件数の増加につながり評価する。
- ・MitraClip は準備段階であるものの、計画における重点施策はほぼ実施を完了しており大変評価できる。あとは、P T A 等の数値目標の達成のための努力に引き続き期待する。

2－(3) 消化器疾患にかかる医療の充実

【評価：4】

- ・コロナ禍において、救急搬送後消化器センター入院件数が増加している点や、内視鏡検査件数等、指標に沿って実施したことを評価する。
- ・消化器疾患にかかる医療の充実という観点では、概ね中期計画・年度計画とも達成しているが、内視鏡手術件数が目標未達であり、肥満外科手術認定施設の認定も未了のため、今後の達成に期待する。
- ・コロナ禍の中、圏域外を含む救急症例を積極的に受け入れたことが評価できる。高度肥満疾患に対する胃スリーブ切除手術をチームで連携して行っている。

2－(4) 周産期医療の充実

【評価：5】

- ・地域周産期母子医療センターとして、分娩件数・ハイリスク分娩件数とも目標達成し、緊急搬送対応も十分な成果がある。他方産科医確保の課題と、総合周産期母子医療センターの整備が未了である。
- ・分娩件数、ハイリスク分娩件数ともに目標指標を達成している。24 時間 365 日ハイリスク、新型コロナウイルス感染母体の受入を行って、地域周産期母子医療センターの役割を果たした。

2－(5) 小児医療の充実

【評価：5】

- ・緊急性の高い疾患や、新型コロナウイルス感染症患児の受入、治療を評価する。
- ・基本的に全ての年度計画が達成されていると考えられ、計画通りの施策が実施されている。今後は、中期計画達成を目指して、先天性疾病対応での連携やチーム医療の推進等も進めて頂きたい。
- ・小児科救急搬送受入件数は目標指標を大きく達成しており、また、入院延べ患者数、外来延べ患者数ともに前年度より大きく増えていて小児地域医療センターの役割を果たしている。

2－(7) 総合診療体制とチーム医療の充実

【評価：4】

- ・目標件数にほぼ到達している。ICU での管理栄養士の配置、ハイブリッド型 IVR-CT 導入等、チーム医療の充実を評価する。
- ・数値目標もおおむね達成できており、総合診療体制とチーム医療の充実が図られている。集中治療室管理加算 1 の取得と遺伝子診療体制の維持・ゲノム医療対応に期待する。
- ・目標指標は概ね目標を達成しており、活動指標も呼吸リハビリテーション件数や口腔ケア件数などが前年度より増加している。また、科研費事業に採択されるなど高度な研究にも充実している。

2－(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成

【評価：4】

- ・目標指標を達成していることや、活動指標の増加、コロナ禍で実習学生の受入を確保している点を評価する。
- ・今後は、現在の体制の維持拡充と、資格取得実績を上げるべく資格取得支援を更に進めて頂きたい。
- ・「学べる病院」として様々な職種の高度な技術習得により医療へのモチベーションを高めている。

3－(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底

【評価：4】

- ・インシデント再発に向けた検討を行っている点や、パニックアラートの運用により合併症を減少させる取組を評価する。
- ・ヒヤリハットレポート等の把握・分析や、リスクマネージャー部会、その他の研究会等で安全性の向上に努めている様子が看取でき、年度計画もおおむね達成できていると評価できる。
- ・研修医からの報告もあるなどフラットにリスクについて話し合ったり、リスクを点検する仕組みを構築している。

3－(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実

【評価：4】

- ・目標指標に到達しており、今後も医療の推進と患者サービスの充実を期待する。
- ・満足度調査の目標が達成され、クレームが減り感謝の言葉が増加するなど評価できる。他方で、年度計画との関係では、セカンドオピニオンへの取り組み・患者相談窓口拡充の取り組みが未確認である。
- ・入院時重症患者対応メディエーターを養成し、医療に限らず社会保障の面からも患者に寄り添っている。

◎その他考慮すべき事項

2－(6) センター診療機能の更なる充実

【評価：3】

- ・圏域の医療情勢を踏まえてセンター機能の更なる充実を期待する。
- ・コロナ禍で情報収集や意見交換に努めて頂いているものの、まだ計画である新たなセンター診療機能の構築に向けての具体的な内容・進展が見られない。
- ・患者の受療動向が予測困難な状況にあるが、今後も市民の受療ニーズに合う新センター設置を目指してほしい。

◎評価にあたっての意見、指摘等

1－(1) 救急医療への対応

- ・課題として挙げられている脳血管疾患については脳神経外科に強い市内の病院があり、外傷については県立加古川医療センターや民間が対応しており、ある程度ニーズが満たされている。加古川中央市民病院はコロナ対応で救急を受け入れている実情を知っている。
- ・数字のみで評価をすると、不応率の指標で目標を達していない。しかし、コロナ禍という状況でコロナ患者が病院難民になるなか、市民病院はコロナ患者を受け入れた点はとても評価できる。

1－(2) 災害時における機能の強化

- ・コロナ禍であっても沖縄県の医療にも貢献するなど、様々な困難がある中でも臨機応変に対応しており評価できる。
- ・どの病院もそうだが、コロナ禍で様々な実習、研修、訓練ができなかった面がある。

1－(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮

- ・コロナ禍のため紹介率が低いという問題がある。一方で医師や看護師を新型コロナワクチン接種業務に派遣し貢献いただいた点を高く評価する。

2－(4) 周産期医療の充実

- ・中期計画・年度計画を客観的に見た場合、総合周産期母子医療センターの整備についての達成状況が未達であった。
- ・慢性的な産科医不足についてはどこの病院でも大きな問題であるが、そういった中でも目標指標の数値を達成している点が評価できる。

2－(5) 小児医療の充実

- ・小児科救急搬送受入件数が目標指標を大きく達成しており、その他の活動指標についても昨年度に比べて件数が増加しており、地域の小児科センターとして大きく貢献している点を評価する。
- ・目標指標や活動指標の達成状況および新型コロナウイルス感染症患児の治療を行った点などを評価する。
- ・数値目標や年度計画をすべて達成している点を評価する。

2－(6) センター診療機能の更なる充実

- ・取組について具体的な中身が見えにくい部分があり、年度評価の達成状況が不明な部分があった。

2－(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成

- ・医師数やスタッフが増えているが、少し頭打ちになっている。もう少し研修医が増えればいいが、制度上の問題もある。
- ・産科医など特定の科目の医師を増やすことは必要だが、どんどん医師数を増やしていくべきというものでもない。今後は看護師のラダー取得者数を増やすなど、人材育成の方面に重きを置いていくべきだ。

3－(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実

- ・数値目標はほぼ達成できている。細かい部分になるが、セカンドオピニオンへの取組や患者相談窓口拡充について具体的な取組が見えない部分がある。
- ・入院・外来ともに入院満足度が高く、今後も継続していただきたい。
- ・意見回収に占める感謝の割合が他の医療機関と比べても高いと感じる。回収件数自体も多く、それだけ患者と共に病院運営を行っているという印象を受ける。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

◎評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んで いる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れて いる
----------------------	-------------------	---------------------	--------------	-------------------

4項目のうち、「やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実」をはじめ2項目で年度計画を達成しており、残りの2項目についても年度計画を概ね達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「3.55」であり、3.5以上4.5未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	(1) 効率的・効果的な組織運営	4	3	3	12
	(2) コンプライアンスの徹底	4	3	3	12
	中項目 計	8	—	—	24 (3.00)
2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	5	4	4	20
	(2) 働き方改革の推進	5	4	4	20
	中項目 計	10	—	—	40 (4.00)
合 計		18	—	—	64 (3.55)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & \left[\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)} \right] \text{の合計} \div \text{配分(a)の合計} \\
 &= 64 \div 18 \\
 &\approx 3.55
 \end{aligned}$$

◎特筆すべき小項目評価

2-(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実 【評価：4】

- ・職員満足度の数値目標が達成され、概ね年度目標も達成されている。他方で年度計画との関係では、新たに管理職となった者への研修の実施が確認できなかった。
- ・仕事にやりがいや誇りを感じると答えた割合が若干下がっていることが残念。システミックコーチングによって、コミュニケーションを意識する風土が浸透していることは評価できる。

2－(2) 働き方改革の推進

【評価：4】

- ・医療の質、安全を確保しながら推進を期待する。
- ・年度計画もおおむね達成できており、特に長時間労働になりがちな医師へのケアや分業によるサポート体制構築に向けた動きも評価できる。特定行為研修期間の指定も受け今後更なるタスクシフトが期待される。
- ・適切なタスクシフトにより、働き方改革に対応している。ナイトサポーターや帰宅困難な職員のための宿泊施設の確保など職場環境改善が評価できる。

◎その他考慮すべき事項

1－(1) 効率的・効果的な組織運営

【評価：3】

- ・機構設立10周年の記念誌発行を評価する。今後も業務の見直しを行い、効率的・効果的な組織運営を期待する。
- ・効率化に向けた組織づくりや情報共有などの年度計画は、おおむね達成できているようで評価できる。他方で、事務支援システムや電子決裁システムの導入などが未了である。
- ・情報を共有することで職員の経営参画意識を醸成していることや動画配信サービスで患者理解を高めていることが評価できる。電子決裁システムの導入などIT強化を期待する。

1－(2) コンプライアンスの徹底

【評価：3】

- ・情報リテラシー向上への取組は、コンプライアンス研修会参加者数より評価する。
- ・会計監査人による監査、情報セキュリティ対策の強化、情報開示体制の整備などは確認できるものの、ハラスメント対応体制や公益通報制度の整備によるコンプライアンス体制の整備が不十分と考える。
- ・コンプライアンス推進のための取り組みが多角的に行われている。サイバーテロを想定しての情報システム非常時対応体制の整備に期待する。

◎評価にあたっての意見、指摘等

1－(2) コンプライアンスの徹底

- ・実績評価の文面だけではハラスメント通報窓口・相談窓口の周知や早期に介入できる体制について具体的な取組が見えない。また、公益通報制度の整備や運用状況についての中身が見えない。アンケート調査実施後のフィードバックが重要だが、そうした一方踏み込んだところまで対応いただくと、より良くなる。
- ・これまでの経験からすると、経営状況等が良いときはコンプライアンスの問題が見えにくい部分があるが、少し時間の余裕ができたり会社の売り上げが落ちてきたりすると、コンプライアンスの問題が顕在化することがある。今は病院の本業として素晴らしい結果を残しているので、こうした本業以外の部分も充実させていただきたい。
- ・ハラスメントについては最近法律の改正が進んでいるところで、各企業でも力をいれている部分であるので、そういったところも充実させてほしい。

3 財務内容の改善に関する事項

◎評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んで いる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れて いる
----------------------	-------------------	---------------------	--------------	-------------------

「経営基盤の強化」及び「収入の確保及び費用の最適化」のいずれの項目も年度計画を達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「4.50」であり、4.5以上であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 経営基盤の強化	※ 小項目なし	5	5	5	25
	中項目 計	5	－	－	25 (5.00)
2 収入の確保及び 費用の最適化	※ 小項目なし	5	4	4	20
	中項目 計	5	－	－	20 (4.00)
合 計		10	－	－	45 (4.50)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & \left[\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)} \right] \text{の合計} \div \text{配分(a)の合計} \\
 & = 45 \div 10 \\
 & = 4.50
 \end{aligned}$$

◎特筆すべき小項目評価

1 経営基盤の強化

【評価：5】

- ・目標指標の達成度が優れている。
- ・コロナ対応の影響もあるものの全ての数値目標を達成しており、大変評価できる。また、クリニカルパス見直しによる在院日数の適正化等、コロナ対応以外でも経営基盤の強化に向けた対応がされている。
- ・少子高齢化などの問題に加えてコロナ禍と不安定な状況の中で機敏に判断・行動した結果として医療と経営の両立を図られ、将来の経営原資として重要な累積経常利益などが素晴らしい。

2 収入の確保及び費用の最適化

【評価：4】

- ・目標、活動指標ともに年度計画を達成している。コロナ禍で病床稼働率が約90%である点や、新入院患者数が増加している点を評価する。
- ・概ね年度計画の数値目標が達成され、未達の項目も高い水準であり評価できる。今後も、新たな診療報酬算定に向けた人材確保・育成や、物価高に対応するコスト削減等に取り組んでいただきたい。
- ・診療単価が入院・外来ともに上昇しており、高度専門的な医療を提供していることの証左となっている。今後も物価上昇など経営環境が厳しくなるが情報を共有して機敏に対応してほしい。

4 その他業務運営に関する重要事項

◎評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでいる	B 概ね順調に進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れている
----------------------	---------------	-----------------	--------------	---------------

「地域社会との協働の推進」の項目では年度計画を概ね達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「3.00」であり、2.5以上3.5未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 %(a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 地域社会への貢献	(1) 地域社会との協働の推進	2	3	3	6
	中項目 計	2	－	－	6 (3.00)
合 計		2	－	－	6 (3.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

[小項目評価(c) × 配分(a)] の合計 ÷ 配分(a) の合計

= 6 ÷ 2

≒ 3.00

◎その他考慮すべき事項

1－(1) 地域社会との協働の推進

【評価：3】

- ・地域での感染症対策に貢献したことを評価する。
- ・コロナ対応での多忙もあると思うが、年度計画である病院ボランティアの養成と活用及びコロナ禍における地域住民とのコミュニケーション方法の検討について、具体的な取組を進めて頂きたい。
- ・医療ひっ迫の中、発熱外来で大規模なPCR検査を実施し、地域社会の安心安全に貢献した。

◎評価にあたっての意見、指摘等

1－(1) 地域社会との協働の推進

- ・コロナの予防接種への協力を地域に対する貢献として含めた上で評価した。
- ・コロナ禍で計画どおり実施しにくい部分があった。地域社会とのコミュニケーション方法について、例えば動画配信を用いた情報伝達など今後の課題として感じた。
- ・きらり川柳など、新しいアイデアを発揮しながら地域社会との協働に取り組んでいることが評価できる。

4 その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

◎評価結果

加点 12点

「市施策への協力」の項目について、市が推進する新型コロナワクチン接種事業に医師等を派遣するなどの取組により、年度計画を達成していると判断した。

【小項目評価による加点の算出】

中項目	小項目	加点 比率 (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	加点 (d)
1 地域社会への貢献	(2) 市施策への協力	3	4	4	12

◎特筆すべき小項目評価

1－(2) 市施策への協力

【評価：4】

- ・市民へのワクチン接種事業への協力を評価する。
- ・ワクチン接種事業に相当数の人員を派遣して協力するなど、市の施策への積極的な協力が確認できる。引き続き、市の要請に応じて対応を進めていただきたい。
- ・市民への大規模かつ安心なワクチン接種を実施したことが大きく評価できる。